

「いるまの」

「仲よくする子考える子やりぬく子」の育成



学校評価、全国・県・入間地区の学力・学習状況調査の結果から、後期「学校運営改善策」立案

4月に行われた各種学力・学習状況調査と、7月に実施した学校評価に関するアンケート結果から、後期学校運営改善策を立案しました。新学期がスタートし、入間野小学校の全教職員が一丸となって取り組んでいます。ここに結果の概要をご報告し、改善策をお示しいたします。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査、入間地区学力調査の結果

★平成27年度入間地区学力調査の結果【本校の概要】

- 実施月日 平成27年 4月14日(火)15日(水)
- 実施学年 第2学年～第6学年 ○実施教科 国語・算数
- 結果の考察

実施した全学年、国語科も算数科も入間地区の平均を越えました。国語では、「ことばのきまり」の正答率がやや低く、算数科では、基準である「O れい」の認識と問題作りに課題が見られました。

★平成27年度埼玉県学力・学習状況調査の結果【本校の概要】

- 実施月日 平成27年 4月16日(木)
- 実施学年 第4学年～第6学年 ○実施教科 国語・算数・質問紙
- 結果の考察

実施した全学年、国語科も算数科も県の平均を越えましたが、第6学年が県平均とほぼ同等でした。国語では、「話す・聞く」「書く」の分野で正答率がやや低く、全体的に記述式の問題形式に課題があります。前年度を問う第5学年の質問紙からは、学校生活への充足感を持たせる必要性が見えました。

★平成27年度全国学力・学習状況調査の結果【本校の概要】

- 実施月日 平成27年 4月21日(火)
- 実施学年 第6学年
- 実施教科等
 - ・国語A(主として「知識」に関する問題) ・国語B(主として「活用」に関する問題)
 - ・算数A(主として「知識」に関する問題) ・算数B(主として「活用」に関する問題)
 - ・理科 ・質問紙調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査)
- 結果の考察

国語A、B、算数Bが、全国平均と比較して3～5ポイント低く、国語では、漢字の書き取りや引用した言葉の書き抜き、算数では、数量関係や考えを説明する算数的活動に課題が見られました。算数Aと理科は、全国平均とほぼ同等でした。質問紙からは、規律正しく、意欲をもって学習している様子が分かりましたが、本や新聞を読むことが少なく、作文を書くことがやや不得手であることも分かりました。

学校評価の結果

教職員の自己評価では、①掃除の指導の徹底と②学級活動の計画的な指導、③活用する力の育成と④道徳・人権教育の指導の充実が2学期へ向け、重点課題となりました。また、教職員と児童・保護者のアンケート結果を、裏面のように連動させて考察すると、⑤挨拶や返事、丁寧な言葉づかい、⑥下敷きをした丁寧な文字、⑦家庭学習の習慣化を継続して指導し、身につけさせていく必要性が見られました。

今後の学力向上策

- 【1】国語タイムの内容を検討し、水曜日業前の時間に言葉のきまりや書き取り等、計画的に実施する。
- 【2】課題に対する「自分の考え」をもたせ、書かせてから話し合い、練り上げ、まとめる授業とする。
- 【3】国語科の研究授業を通して手立てを構築し、並行読書に取り組み、読書に親しませ量を増やす。
- 【4】学校版「家庭学習の手引」を作成し、学年の段階に応じた系統的な家庭学習ができるようにする。